

沖繩 一八四四 三九、四一
 計 八、三五、七三 一〇一、〇〇、九六三
 *三、〇〇、三三三

二〇五、四五六 七、二九、六三九
 七〇、〇二、八七〇 八〇、二二、三四〇
 九六、六二、六九〇

栃木縣市町村土木主任者會議

栃木縣廳土木課

栃木縣には是迄市町村の土木主任者會議なるものを開いたことは無かつた。時局匪救事業が初まつて重要な訓令通牒は文書で指示するの外、市町村長會議を利用して稍細密な事迄打合したのであつた。然し匪救事業第三年目は殆んど前二ヶ年執行した跡仕末の仕事であるから、起工の場所や執行方法にも餘程注意を要する點がある。又既往二ヶ年に執行した其町村内の道路河川工事の維事修繕を放任してはならない。多年の懸案とせられた道路工事や河川工事が一瞬の間に完成せられたので、其喜びは格別であるが大抵の場合は腹が膨れると眼の皮が弛むと言ふ譬のある通り、

各町村から一名乃至三名の出席があつて二百名以上とな

恐らく完全なる維持が出来て居ないのは事實である。そこで未だ曾て行はれたことのない仕事をして其仕事而立派に効果を發揮しないと二つの目的の内の一つを失ふ事となり二百萬圓を投資して百萬圓しか得る所がないと言ふことになる。今後如何しても失なはれんとする百萬圓を生かさなければならぬのである。之等の仕事は町村長丈けでは容易でない第一線に立つ町村の土木主任者が活動することが最も効果が擧がるものと思ふて、縣下百七十七市町村の土木主任者會を開いたのであつた。

つた。

其席に縣下の道路愛護に付て總動員する積りで獨り町村道と謂はず、國縣道の維持修繕を完全にするには如何にするかと謂ふ問題に付て町村吏員と膝を交へて談合した。

八月十七日第一日を開くのであるから、宇都宮の公會堂では暑さを恐れて場所は鹽谷郡藤原村の大原小學校を選んだ有名な鬼怒川温泉の近くで、涼風は駿々と訪れ日中も八月の暑さと思はれない午前八時から正午過ぎ迄次に掲げられる會議事項が附議せられる。

春藤土木課長の司會で長島囀託や眞田道路主事から指示事項諮問事項に就ての説明がある。質問者の中にはこんな有益な會議をなぜ今迄開かなかつたとか、今後毎年一回此會議を開けとか鍋掛村は之を定例会とすることに付此會議員全員の決議として當局に要望する建議を動議して、満場の賛成を得て土木課長に陳情した會議は順々に質問應答ありて進行する。特に知事の申請によつて派遣せられた土木局武若内務事務官が列席せられた。

一、指示事項

(イ) 事業費財源を寄附金に求むる場合、寄附金の確實ならざるに見越して財源とし、工事着手後支拂に窮し遂に確實ならざる精算不能のものあり、必ず寄附金受入後申請する様注意を要す。

(ロ) 地元民就勞方法に就ては村内の困窮者を普遍的に優先就勞せしむべきなるに工事施行地の大字民のみを多く使用する傾きあり、就勞者臺帳を整備し村内困窮者を普遍的に優先する様注意を要す。

其他十五項目

二、諮問事項

- (イ) 時局匡救土木事業の執行に關する件
- (ロ) 時局匡救町村營土木事業の維持管理に關する件
- (ハ) 農村振興土木事業執行の影響に關する件
- (ニ) 市町村道路占用に關する件
- (ホ) 土木統計報告に關する件
- (ヘ) 國府縣道維持に關する件

1 定期修繕の效果の方策如何

2 道路保護組合の活動を促す方法如何

3 國府縣道の路面修理維持の對策如何

4 道路愛護宣傳講演及活動寫眞を以て道路に對する認識を深め以て道路修繕に寄與あらしめんとするも既に往の實況に徴し效果如何

5 縣に於て執行せる道路品評會の效果に就て批評を求む

(ト) 縣營土木工事地元請負制度に關する件

(チ) 公營土木事業の向上發展に關する意見如何

(リ) 土木に關する法規中改廢意見如何

(ヌ) 市町村道路調(様式省略)

會議が濟んで午後二時から土木工事の見學をする實地視察の見學團は十臺の自動車に分乘して、一二名縣の主事、技師が案内係を承はる。視察場所は次の箇所が選ばれた。

一、鹽谷郡藤原村瀧縣直營産業振興瀝青簡易鋪裝工事

二、同郡同村鬼怒川發電所

三、同郡三依村元内務省五十里堰堤工事跡

四、同郡同村農村振興道路工事

五、同郡同村縣營農村振興道路工事

午後五時半視察が終つて鬼怒川溫泉八旅館に分宿した夜も一行の元氣の良い謳や放吟で仲々賑ひを呈し溫泉場を壓倒した。

八月十八日第二日は午前八時から正午迄講演會の豫定で武者内務事務官に御依頼する。然し一人でそんなに長くしゃべるより可成大勢で色々な方面の事柄を話した方が効果的であるまいかとの提言があつたので、數人に御依頼することにした。

先づ武者内務事務官は登壇

(イ) 時局匡救事業の沿革非常時の言泉

(ロ) 匡救事業の趣旨

(ハ) 道路の維持管理

(ニ) 賦役制度の勵行

(ホ) 交通機關の比較論評

(へ)公共團體の乗合自動車企業並財政緩和策

(ト)道路愛護精神的活動促進策並農閑期利用勞力負擔と

税金の相殺

に就て滔々二時間瀟洒たる貴公子、流暢なる發言、美しき聲量と相俟つて聽取者に多大の感動を與へた。

次には春藤土木課長道路愛護に就てと題し

(イ)道路の歴史

(ロ)道路法實施後の道路の區別延長幅員面積の數字説明

及經費

(ハ)自動車交通發達の狀況

(ニ)道路の維持管理(神奈川縣下の狀況引例)

(ホ)縣下に於ける維持管理の狀況

(ヘ)道路愛護公德心の喚起

に付一時間是れ又非常なる有益の講演なり

次に武田道路技師は常識道路技術と題し

(イ)道路の意義

(ロ)道路の歴史(外國に於ける)

(ハ)古今道路の構造比較

(ニ)路線決定道路新設上の注意

(ホ)道路維持管理上の注意

を四十分講演せられ

又最後に眞田道路主事より道路法規に付平素最も關係深き事項に付て解説せらる。

以上を以て講演會を閉ぢ、午後一時土木課長の閉會の挨拶ありて散會。

巴
藤

石疊靴底にひる／＼と落葉かな

月更けて梧桐一葉我が窓に

秋の蝶朽ちし墓標の裏に在り

烏瓜の蔓ひけば卒塔婆の動くかに

君にしては賢こすぎたる案山子哉